

技法書分析のための基礎研究

—技法書データベースβ版の作成—

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学保存修復日本画研究室

非常勤講師 染谷香理

はじめに

本研究は、これまで体系的に分析されることのなかった日本の絵画技法に関する文献を、技法材料別に関連付けてデータベース化することで、現代用語で自由に検索可能にすることを試みたものである。

これまで、「技法書」は個別に読み解きが行われることが多かった。しかしながら多くの絵画技法材料を学ぶものにとって、「技法書」が書かれた当時の包括的な技法材料を知ることよりも、ひとつの技法や材料における時代や価値観の変遷を知る必要があることの方が多い。また絵画技法材料は、有名な土佐光起の『本朝画法大伝』のように、いわゆる「技法書」として刊行されたもの以外にも、随筆や日記・書簡などにおいて伺い知ることが出来るものもある。その場合、それらに技法材料に関する重要な記述があったとしても、無関係な記述が多く、必要な情報を得るのに時間を要することがある。これらの理由により、絵画技法材料に関する文献をデータベース化することは非常に有意義だと思われるが、そこにはいくつかの問題点がある。まず、坂崎坦『日本絵画論大系 1～5』のように翻刻され活字となっているものもあるが、これは戦前の文献が皆そうであるように旧仮名遣いが使用されている上、漢文による記述も散見できる。そして、文献によっては“緑青”を“六青”と記述するなど、あて字が使われることも少なくない。また、絵画技法や材料を示す言葉が時代と共に変遷し、同じものを示していても言葉が変化してしまったり、著者が材料名を誤用していたりするケースがある。これらの問題は、仮に文献をそのままテキスト化しデータベースを作成したとしても、利用者が検索時に正しく検索出来ないということを引き起こしてしまうのである。

そこで本研究では次の手順でデータベースの作成を行い、これらの問題を解決することにした。

- ① 文献を現代仮名遣いに直して、テキスト化する。
- ② 技法材料の記述ごとに本文を区切る。
- ③ 内容を読み解いたうえで記述内容に対して最大5つまで技法材料用語をカテゴリとして関連付ける。
- ④ データベースに登録する。

文献の収集と分析

技法書データベースの作成にあたり、技法材料により深い知識を得るため、約200編の文献の収集及び複写の入手を古書店からの購入や近代デジタルライブラリーからのダウンロードなどにより行った。そしてそれらの中から、どのような立場で技法材料に関する記述がされているかが明白で、より技法材料に関する記述が多いもの凡そ50編を選出し、そのうち32編の図版のスキャンと本文のテキスト化を完了させた。

またテキスト入力にあたっては、次のような入力規則を設けた。

- 坂崎坦『日本絵画論大系 1～5』に収録されている文献はこれを底本とする。
- より効果的に検索を可能にするために、
 - ◇ 旧字・俗字 → 新字（もしくは正字）
 - ◇ 漢文・返り点など → 読み下す
 - ◇ 送り仮名・ひらがな → 現代仮名遣いになおす
〔例〕 拵えやう → 拵えよう
 - ◇ 新字であっても、難読漢字（特に副詞・こそあど言葉）は平仮名にする
仍って → よって
茲 → ここ
 - ◇ あきらかな誤字・あて字 → そのままにし、註を入れる
 - ◇ ふりがな等は単語のあとに、括弧で入力する
墨池（うみ）

技法書データベースβ版の作成

β版収録文献

データベースにはβ版として、それぞれ時代や立場の異なる次の4編の文献を収録した。

本朝画法大伝	土佐光起（土佐派）	元禄	国内最初の絵画技法書
椿山書簡	椿椿山（文人画）	幕末	書簡
絵具使用法	幸野煤嶺（京都画壇）	明治	絵画技法書
画法一斑	結城素明（東京美術学校）	大正	絵画技法書

データベース概要

データベースの環境は以下の通り。

Apache 2.2.17

PHP 5.3.6

MySQL 5.5.10

検索は主に、①カテゴリ検索・②フリーワード検索・③書誌情報検索の3つにわかれて行う。

① カテゴリ検索

カテゴリ検索はリストボックスから選択して行う。検索結果画面にてラジオボタンで詳細表示する項目を選択し、詳細画面を閲覧する。

② フリーワード検索

フリーワード検索は、文献の本文部分をスペースで区切って **and** 検索する。検索結果画面で検索ワードは太字で表示され、ラジオボタンで詳細表示する項目を選択し、詳細画面を閲覧する。

③ 書誌情報検索

書誌情報検索はデータベースの収録文献をリストボックスから選択して検索する方法と、文献の目次をフリーワードで検索する方法の二種類ある。目次検索の検索結果画面では検索ワードは太字で表示される。

データベースβ版スクリーンショット



データベースイメージ

